

実験用ヒュームフード (ドラフトチャンバー)

正しい使い方ガイド

～ 安全で継続的な実験のために ～



1. 実験の前に
2. 実験中の注意
3. 実験の後は
4. 定期的に

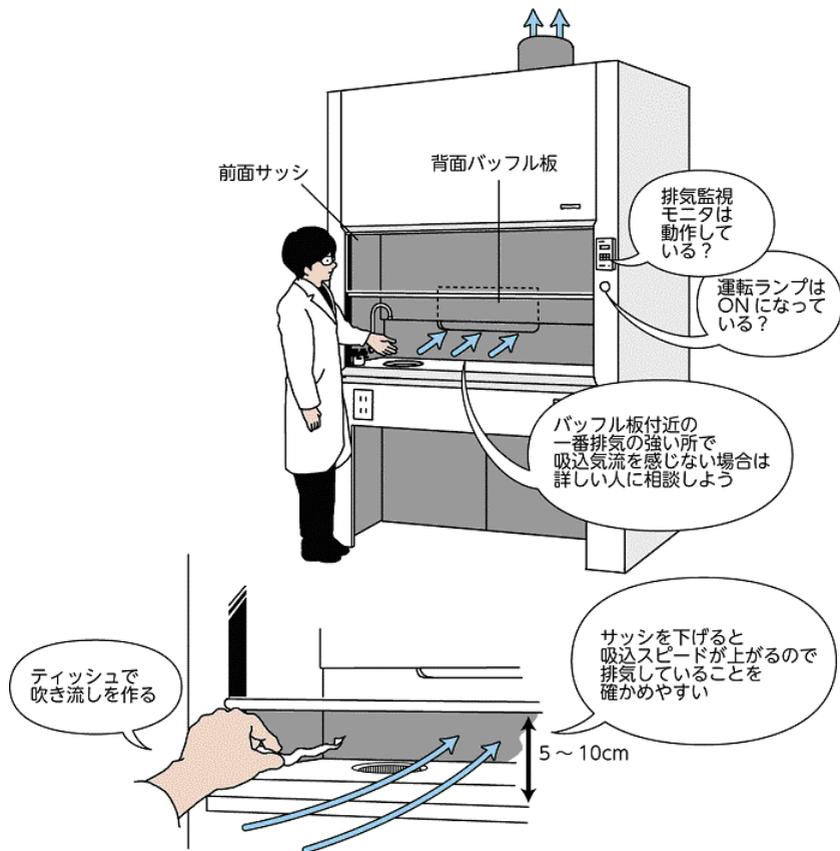
NPO 法人 研究実験施設・環境安全教育研究会 (REHSE)
ヒュームフード推奨基準策定小委員会 編

1. 実験の前に

— 設備は万全でないかも？ —

☑ Point

- 1) ヒュームフードが運転されていることを確認
- 2) 排気がされていることを確認



私たちのルール（実験室固有のルールを決めておきましょう）

2. 実験中の注意

—自分の身は自分で守る—

☑ Point

- 1) 保護具3点セット（白衣／ゴーグル／手袋）を忘れずに！
- 2) サッシはいつも下げておく！ <第4の保護具>



私たちのルール（実験室固有のルールを決めておきましょう）

3. 実験の後は

一片付けまでが実験だー

☑ Point

- 1) 廃棄物の正しい分別と処理をする
- 2) 試薬・薬品をヒュームフード内で保管しない



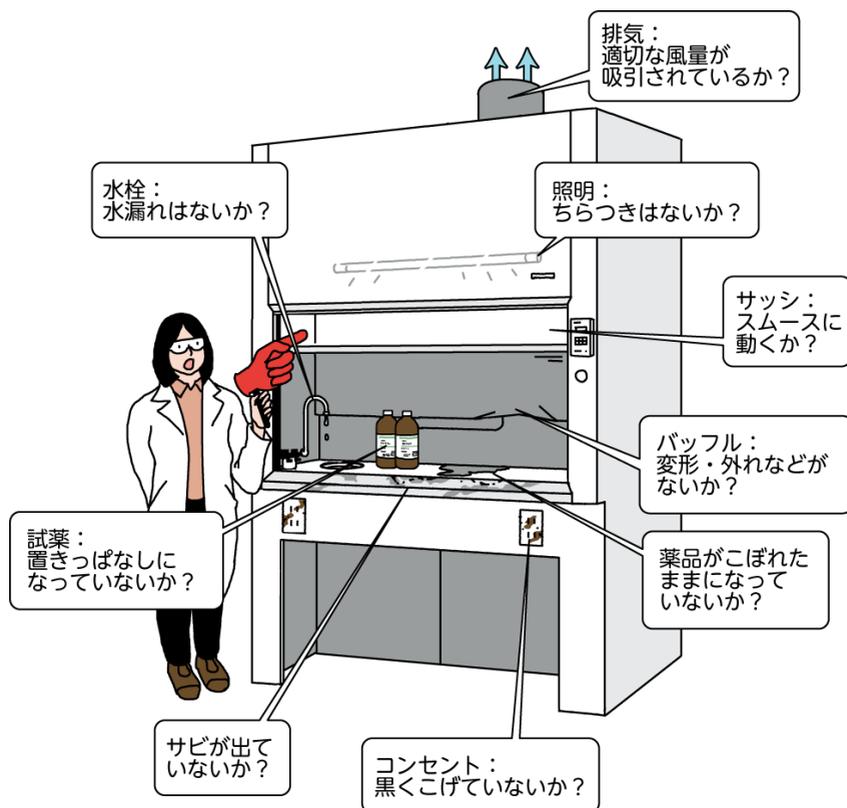
私たちのルール（実験室固有のルールを決めておきましょう）

4. 定期的に

ー掃除と点検で安全チェックー

☑ Point

- 1) 定期的に掃除をしながら、何か異常がないか確認しましょう
(図はよくある異常の例を示しています)



私たちのルール（実験室固有のルールを決めておきましょう）

“実験研究を安全に行うために、大学や研究機関に身を置く各人がそれぞれの立場で何を考え、何をすべきなのか・・・”

「研究実験施設・環境安全教育研究会 (Research for Environment, Health and Safety Education: REHSE)」はそのような素朴な気持ちから立ち上がったNPO法人です。REHSEには大学や高専だけでなく、実験機器メーカー、実験室設計者等、様々な立場の会員が所属しています。これらの会員が一致協力して、それぞれの立場からの視点を取り入れた議論を元に、安全基準策定、安全ツール開発、出版などの取り組みを精力的に展開しています。



研究実験施設・環境安全教育研究会
Research for Environment, Health and Safety Education